



# あいち通信 第六十五号

日本会議 愛知県本部

〒464-0836

TEL:052-763-4678 FAX:052-763-4588

愛知県名古屋市中種区菊坂町3-5-302 E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

## 皇太子同妃両殿下 奉迎 報告



皇太子同妃両殿下におかれましては去る十一月九日から十日の二日間、「ユネスコ世界会議」御臨席のため、愛知県に行啓あそばされました。日本会議愛知県本部は、会員並びに協力団体各位の御支援を得て、JR名古屋駅太閤口にて奉送迎活動を実施致しました。当日は道行く人々に約千本の日の丸小旗の配布を行ひ奉送迎行事に御参加頂きました。JR名古屋駅に御到着された両殿下は「こやかに御手を振られながら、出迎へた人々の歓迎の意に御応へになられておりました。神武建国以来二七〇〇年近くに渡る万世一系の御皇室を戴く此の国に日本人として生を受けた幸運に改めて感謝の念を抱かずにはあられません。本活動に御協力頂きました皆様、此の度は誠にありがとうございました。」  
(文責・日本会議愛知県本部事務局 堀晃司)

## 日本会議東海ブロック代表者大会

### 「美しい日本の憲法をつくろう！」報告

去る十一月三十日(日)アパホテル名古屋錦において、第一部は小川榮太郎先生による憲法改正の提言が、第二部は決起大会が開催されました。小川講師の憲法改正論は、緻密な理論を積み上げたもので、且つ、発せられたその言葉は、美しい日本語をふんだんに駆使し、心震える感動ものでした。文芸評論家が政治論を唱えれば、これほど格調高く聴く者を陶醉させてくれるものなのかと驚きました。

第二部は、柘嶋有三事務総長による運動構想発表の後、運動方針発表、意見表明、決議文朗読などを、愛知、岐阜、三重、静岡、長野から駆けつけた同志が分担して行い、文字通り、東海ブロック会員の総力を上げた熱気溢れるものとなりました。時恰も、衆議院選挙告示の二日前で、立候補予定者も各党からたくさん駆けつけて下さいました。一分でも貴重なこの時期に、本会の行事に駆けつけて下さった候補者全員の当選を心から願いました。同時に、本会の趣旨に賛同して下さい。政治家がこれほどまで増えたことに、感慨深いものも覚えました。

第三部懇親会では小川講師と柘嶋総長が膝詰めで憲法改正論議を交わされた。

## 三島・森田両烈士四十四年祭 実施報告



様子でした。何やら新しいアイデアが生まれたようで、大いに楽しみです。皆さん、憲法改正の戦いの準備は整いました。共に戦いましょう、共に勝ちましょう。今度こそ、憲法改正の戦いに勝利しようではありませんか。  
(文責・日本会議愛知県本部事務局 南部文宏)

去る十一月二十三日の新嘗祭の日に愛知県護国神社桜華会館において三島由紀夫・森田必勝両烈士の四十四年祭が厳かに執り行われました。第二部には皇學館大学教授の松浦光修(みつのぶ)氏による「三島由紀夫と憲法改正の視座―国民投票実現に向けて―」と題した講演をしていただきました。檄文の中にもあるように自らを否定する憲法を守るといふ矛盾を抱えた自衛隊に決起を促した三島先生の思いを改めて胸に刻むことができました。また、三島先生は最期に「自衛隊を天皇におかえしなれば日本の国は滅びます。」という言葉を残して自刃されたことは初めて知りました。まさしくこれが建軍の本義にかなうことであると深く納得しました。とても勉強になるお話でした。  
(文責・日本会議愛知県本部事務局 松川秀康)

## 春日井支部「憲法改正の実現へ DVD鑑賞と意見交換」実施報告

去る十一月十六日(土) 春日井市の「ルネック勝川」において、「憲法改正の実現へ DVD鑑賞と意見交換」と題し、春日井支部の例会を開催しました。

例会は、丹羽秀樹衆議院議員(愛知6区)の代理として藤原雅也秘書、春日井市議会から長縄典夫議員、加納 満議員、長谷川達也議員をお迎えし盛会となりました。また、例会の指導役として愛知県本部事務局から南部文宏氏、西春日井支部から水田美子支部長がお越しくださり、円滑な運営を行うことができました。この場を借りて感謝申し上げます。

例会の主題は憲法改正です。特に九条二項の改正に焦点を当てて学習し、意見交換を行いました。

主な意見を挙げると「憲法改正については、戦後2回目の好機である。安倍総理が政権に就いておられる間に実現しようといった前向きな内容がありました。また、国体護持の立場から天皇陛下は国家元首であられ、政治の責任は国民にあることを明確にすべき。運動戦略の立場から「国民を納得させるための合わせ技はやむを得ないが、環境権は将来の経済に悪影響である」といった意見も出されました。

今後、弊支部は憲法改正の実現に向けて例会や講演会等を開催しつつ、新規会員の獲得に努め、組織拡大につなげていきたいと思っております。皆様のご指導のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

(文責 日本会議 愛知県本部 春日井支部 事務局長 子安博明)





御寺 泉涌寺を護る會 定期総会 出席報告

去る十一月九日御寺(みでら)泉涌寺(せんじゆうじ)を護る會の定期総会に出席してまいりました。日本会議愛知県本部からは水田美子西春日井支部長と金山神社の神職の上原真央さんと私の三名の参加です。泉涌寺は鎌倉時代に創建された真言宗のお寺で、京都市東山区にあります。紅葉で有名な東福寺の東隣に位置するところ。御寺という言葉が示す通り皇室との関わりが深く、天智天皇から昭和天皇まで歴代天皇の御位牌をお祀りしています。

護る會の総裁には秋篠宮文仁親王殿下を「推戴」させていただいております。会長は代々元経団連会長に就任していただいております。御手洗富士夫氏です。

我々三名は、午前十時ごろ受付を済ませた後に、後堀河天皇陵、孝明天皇陵、月輪陵、後月輪陵を参拝させていただきました。

十一時過ぎには、秋篠宮同妃両殿下をお載せした車をお迎えさせていただきました。両殿下は午前の理事会にご臨席になられるとのこと。午後一時から定期総会は始まりました。「両殿下を拍手でお迎えください。」というアナウンスでしたが、我々三名は、両殿下が目のお出ましになられたら深々とお辞儀をせすにはいられませんでした。両殿下「臨席のもと総会は進行していきます。総裁官殿下のお言葉もいただくことができました。今年の講演は冷泉家時雨亭文庫理事長の冷泉為人氏による「伝統文化の継承について」でした。総会終了後、両殿下は境内の菊の展示をご覧になりました。大変ありがたい時間を過ごすことができて感激しました。

報告・名古屋東部支部第十五回勉強会、街宣実施!

※第一部◎開催日時 十一月十六日(日) 午前九時〜午前十一時四十五分◎会場 野並コミュニティセンター◎会費 五百円◎参加者数 二名(勉強会)「テーマ:今後の活動内容について」、座長 東部支部事務局長 加藤貴之:今回は参加人数が少ない事もありましたので、内容を変更し今後の活動内容について話し合いを行いました。一部と二部の間に時間が空いてしまい間延びしてしまう点などの問題を考慮し勉強会の時間と場所の変更の必要性などが議題として上がりました。◎第二部◎街頭演説活動◎開催日時 同日 午後二時〜四時◎場所 昭和区 御器所交差点南西角地◎会費 無料◎参加者数 三名(街宣)衆議院が解散されるとい報道が多くされている中で街宣となりましたので、もし選挙が行われるならば争点として自主憲法制定の是非を問うべきだという内容や選挙後に第3次安倍政権が誕生するならば再度、初心に戻って憲法改正に歩みを進めてほしい等、普段行っておりませんが内容に時事の話題を加え訴えさせて頂きました。足を止めてマイクの声を傾けてくださる方も少ないながらもいつしやり、今後地道ながら活動を続けていこうと思えました。☆名古屋東部支部では自主憲法制定に関して街宣活動にて訴えて欲しい内容や支部活動に関する御意見・アイデアなどを募集しております。メール(kakehashi.katou@hotmail.co.jp) 加藤貴之宛までお気軽にご連絡の程、宜しくお願致します☆(文責:日本会議愛知県本部 名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之)



した。御寺泉涌寺を護る會に入会ご希望の方は、事務局までお声かけください。(文責:日本会議愛知県本部事務局 松川秀康)

事務局日誌(十一月) 服部守孝

一日(土)「歴史体験セミナー」に参加。宿舎は代々木オリンピックセンター。ここは東京オリンピックの選手村跡地であり、広大な敷地に幾棟もの施設が建つていた。二日(日)靖国神社昇殿参拝の後、門田隆将氏による記念講演を拝聴した。特攻兵士の方々の縁者を訪ね、そこから明かされる秘話を紹介された。会場のあちこちですり泣く人あり。斜め右前にハンカチで涙を拭う枕島有三事務総長を発見。四日(火)本部より野崎昭夫事務

局長を迎え、東海ブロック代表者大会の第二回準備会を開催。動員計画、当日運営がほぼ固まり、大会成功を期した。九日(日)皇太子同妃両殿下が「世界エノスコ会議」御臨席のため愛知県に行啓あそばされ、名古屋駅にてお出迎えをさせていただきました。配布したの丸小旗は一千本。妃殿下のお出ましに、多くの奉迎者から歓声が上がった。十日(月)全ての御公務を終えられた両殿下を、再び名古屋駅にてお見送り申し上げた。配布小旗は一千本。夜は、金山神社にて戦争展全体会議。保守系七団体の代表が集まった。十四日(金)名古屋中支部定例会にて幕末維新の先人に学ぶ「西郷隆盛」と題して、講演。大西郷の大西郷たる所以は、功業の人よりも至誠の人であったことを強調した。

十八日(火)安倍首相が衆議院議員解散を発表。十二月二日告示、十四日投票開票となった。二十三日(日)三島 森田両烈士四十四年祭に参列。松浦光修氏(皇学館大学教授)より記念講演をいただいた。天皇と軍隊について、憲法の核心に触れられた。義挙にあたり、三島先生が益田総監に対し「自衛隊を天皇陛下にお返しせねばならない」と言われたヒソドは、心に染み入った。二十六日(水)大学卒業後の三年半(昭和五十七年〜六十三年)勤務していた職場(海部土地改良事務所)の上司三名と二十五年ぶりに再会、旧交を温めた。私は「上司の方たちと働いたが、国民運動の道を選んで退職した。昭和天皇様の御在位六十年奉祝運動組織を立ち上げるためだった。理事長だった吉川博先生(故人・当時参議院議員)に辞職

願を持参すると、「君が青雲の志を抱いて辞めて行くのなら、喜んで送り出そう。しかし、何の後ろ盾も無い団体で、身を滅ぼすことになる」とは明らかだ。私は反対である」と言われた。私はこう申し上げた。「天皇陛下は六十年間、御苦勞の連続でいらしてました。僕は天皇陛下に御恩返しをしたと思います」と。当時二十七才、純粋でひたむきだった。爾來二十九年。この場面に人生を運命化した。三十日(日)日本会議東海ブロック代表者大会に二百名が参集。成功裏に終了した企画立案より五ヶ月。関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。

新規入会者紹介 (平成二十六年十月)

ご入会ありがとうございます。井上由貴男(正会員) 深津孝保(正会員) 加藤孝明(正会員) 西浦結貴(支援会員) 中谷基之(支援会員) 内田長人(支援会員) 大海誠司(支援会員) 種別順入会日順・敬称略



愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 1月4日(日)午前8時開始、9時終了予定。
- 引き続き2月1日(日)午前8時より実施予定。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になります。疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。★12月7日は、13名の方にご参加いただき掃除をしました。ありがとうございました。前号では日付の誤表記がありました。申し訳ありませんでした。

●「日本の息吹」を引続きご購入くださいますようお願いいたします。